


ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立弘前第一養護	学校			
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
	単元(題材)名	図形を描いてみよう					
	単元(題材)の目標	設問の指示に従って、二等辺三角形、直角三角形等を正しく描く。					
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	1～3年（グループ）	年	6	人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元（題材）における主な実態を端的に記入する。 小学校1～2年生程度の学力を有する学年混合のグループである。小学校においての基礎学力があるが、応用、思考力、イメージ力を問われる問題は未熟である。また、言語指示による全体指示のみでは難しい生徒もおり、個別の指示を必要とする生徒もいる。					
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 iPad、Apple TV、Apple pencil					
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 カメラ（標準搭載のもの）					アプリマーク 
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)					
ICT活用のねらい	生徒全員に対して、板書する形式とプロジェクター（又はテレビ）形式のどちらが学習をしやすいかを聞いたところ、プロジェクター等、画面を通した学習の方が見やすいという意見だったため、生徒達のなじみのあるものを使うことで学習効果が高まることをねらった。						
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 Apple TV と組み合わせ、教師の手本を全体に提示したり、生徒の学習過程を全体に提示したりして、授業を進めている。学習成果をシンプルに共有できるので有効である。 Apple TV の機器を学級のテレビに接続し、iPad の画面を Apple TV を通してテレビに表示する。実際に生徒が発表をするときに、画面上に Apple pencil で記入したものがそのまま画面を通して全員で共有でき、確認ができていたため目線を前に向ける指示で学習ができる。						